

鎌倉時代の宇治川

— 宇治茶
でんらい
の伝来 —







この伝説にちなんだ記念碑が
黄檗山万福寺山門前にある
「駒の蹄影の碑」です。

また村人に茶の栽培を
教えたこの僧は
梅尾の高山寺の
明恵上人であると
伝えられています。



これは 中国から
伝わった「茶」と
いうものじゃ
育った木の葉を
粉にして飲むと
身体によい





宇治のお茶にはそんな伝説があるのか



お茶の伝来にはいろいろな説があつて、平安時代天台宗の開祖最澄が唐から持ち帰つた説



鎌倉時代の臨濟宗の開祖栄西が苗木を伝えた説



その栄西から明恵上人が茶の種をもらった説とね



そのころのお茶もこんな風だったの？



煮だったお湯の中にお茶の葉の粉末を入れて飲んでよらしい



ひえー聞いただけでそー



当時は薬として飲まれていたらしいわよ



宇治の伝説はいろいろあるのね



もう少し宇治川にまつわる話を続けようか



次に登場するのが奈良西大寺の僧叡尊だよ
そうだね
時代は十三世紀後半頃のこと……